

発達障がい基礎研修その2



あたりまえのことほど難しい

～数量理解から見える私たちの認識の過程～



講師：矢ヶ崎 響さん（がじゅまる教室）

2021年2月26日（金）

14:00～16:00（接続練習は13:30からOK）

会場：ZOOMによるオンライン

定員：50名 参加費：無料

※Youtubeによる講演部分の限定配信あり（申込制）

申込：申込フォームまたは

museum.tsunagu@gmail.com



てこぼこさんと
はくぶつかん



主催：てこぼこさんとはくぶつかん 後援：大阪市立自然史博物館

障がいをもつ子どもたちの体験や学びによりそい、サポートできる人になるには、子どもたちの「わからなさ」を理解すると同時に、自分がなぜそれを勝手に（頭の中で）こなしているのか、それはどんな作業なのかを振り返ってみることが必要です。

今回は、京都市で知的障がいなど発達障がいな子どもたちのための算数教室を主宰する矢ヶ崎響さんから、講義と簡単なワークを通して「数がわかる」とはどういうことなのか、お話しいただきます。数の概念を取得することは、人の暮らしをどう変えていったのでしょうか。

ZOOMによるオンライン開催です。お申し込みいただいた方に当日のIDとパスワードをお知らせします。関心のある多くの方の参加をお待ちしております。

【講師】矢ヶ崎 響（やがさき ひびき）さんプロフィール

知的障害、発達障害のお子さんのためのマンツーマンの教室と、『安曇野プラン』の算数数え方教室を開催。『安曇野プラン』とは、知的障害、発達障害のある子どもたちを対象とした算数プラン。数という抽象概念を獲得するために、子供と一緒に「人類が数を獲得してきた歴史」をたどっていく。子どもたちが試行錯誤し、生き生きと目を輝かせながら楽しく学ぶ姿を見ることが出来る。著書に『算数が苦手な発達障害の子のための数と計算の数え方』（PHP）がある。

京都大学人間環境学研究科修了。原点は、出身地である沖縄。

※ZOOMを使うのは初めて、あまり慣れていなくて…など、参加に不安がある方はご相談ください。

※当日の参加が難しい方には、資料のPDF+Youtubeでの期間限定配信を予定しています（講演部分のみ）。URLはメールでお知らせしますので、配信希望の方もお申し込みをお願いします。

「てこぼこさんとはくぶつかん」は、
自然史博物館と発達障がいのある子どもたちを
つなぐことを目的に活動する有志のグループです。
2020年度ドコモ市民活動団体助成を受け、
研修会やワークショップを実施しています。

<https://www.facebook.com/tekopoko>
事務局：大阪市東住吉区長居公園 1-23 大阪市立自然史博物館
なにわホネホネ団 内（担当：和田・西澤・竹村）

